

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.88

萩ジオパーク推進協議会

| 2022年6月30日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 https://hagi-geopark.jp

📘 https://www.facebook.com/HagiGeoProject

「地球を食べる食堂（萩三角州と焼き抜き蒲鉾）」開講しました！

地球を食べる食堂の第2弾「萩三角州と焼き抜き蒲鉾」を6月4日に開講し、14名が参加しました。

まずは、浜崎地区の旧山中家住宅にてランチを味わうところからスタート。ランチの内容は串肴（くしざかな：お祭りの出立ちの時に提供される竹串にこんにゃくや蒲鉾などを刺した行事食）、わかめむすび、そしていとこ煮。それぞれ萩にゆかりのある料理です。今回、萩の郷土料理に精通しておられる「萩元氣食の会」の岡野芳子理事長に、萩の郷土料理と焼き抜き蒲鉾のつながりや串肴にまつわるお話をしていただき、実際に参加者が蒲鉾などを串に刺すなどの体験をしてランチを堪能しました。



続いて、浜崎地区の街並みを少し歩いて、三好蒲鉾を訪問。

代表取締役の三好忠之さんに、かまぼこの歴史や、蒲鉾作りに欠かせない魚のエソについてなどのお話を伺いました。出来立てほやほやの蒲鉾を試食したり、実際にエソを見せてもらったりと、普段できない体験に皆さんとてもうれしそうでした。三好さんが準備されたエソは、一見同じように見えるけど実は3種類いて、かまぼこになるエソとならないエソがいるという話に参加者は、じーっと見比べるも、違いが分からず、三好さんの解説に釘付けでした。

三好蒲鉾で蒲鉾についてたくさん学んだあとは、白井専門員による浜崎地区の散策。この辺りは、はるか昔は砂丘で、お寺が集まる浜崎新町と熊谷町、北古萩町の境付近は砂丘の一番高いところ。歩いてみると高低差がはっきりと分かり、参加者も普段歩いていて気に留めないこの大地の視点に

「へー！」という声が上がっていました。しばらく散策して菊ヶ浜に到着。ここで白井専門員による、萩の三角州の成り立ち実験を行いました。最後に、指月山を背景に記念撮影。萩の郷土を深く知ることのできた楽しい講座となりました。

第3弾 7/17は、須佐ホルンフェルスとケンサキイカ！

ケンサキイカは、萩市内でも馴染み深く、須佐地域では「須佐男命いか」というブランドになっています。このイカをお目当てに県内外から須佐へ訪れる人がたくさんいるほどの人気ぶり。なぜ須佐で美味しいケンサキイカがたくさん獲れるのか、大地の視点、生産者の視点、料理人の視点から紐解いていきます。※定員に達したため受付終了



5/30

国税庁事業で海外の日本産酒類専門家が研修のため来萩されました



国税庁がGIをテーマに海外の日本産酒類専門家育成に係る研修を萩で行いました。参加者は、ロンドンに本部を置く74ヶ国に展開する世界最大のワイン教育機関WSET (Wine and Spirits Education Trust)で2013年に新設されたSAKE 資格講座の教育者達です。澄川酒造場、萩酒米とう精工場を訪問後、笠山山頂展望台で白井専門員が萩の日本酒の背景についてお話ししました。現地でなければ聞けない地域の情報に、参加者は、興味津々の様子でした。

萩市新規採用職員研修を行いました

6/8

萩ジオツーリズム協会の波田さんが萩城下町をガイドし、笠山椿群生林を笠山ジオの会の斎藤さんがガイドして萩市新規採用職員研修を行いました。参加者からは、「さっき歩いた道が、違って見える!」、「ガイドさんの技術がすごい」などの声が聞かれました。最後は、白井専門員が笠山山頂展望台で、地球の活動が大地を生み、人々はその特徴をよく観察して工夫することで恵みを得ていることや、人からすれば脅威にもなるその地球の活動と、城下町の人々のように上手に付き合っていくことの大切さを伝えました。



6/10

萩市新規採用教職員研修を行いました



笠山ジオの会の斎藤さん、広瀬さん、当会の伊藤事務局長、白井専門員、小野事務局長が、萩市内の小中学校に配属された新規採用教職員の研修を行いました。明神池、風穴、越ヶ浜のまち歩き、笠山山頂で実験を行い、参加者からは「へえ〜!」「なるほど〜!」という声があちこちから聞こえてきました。ぜひ、この経験を生徒たちの学びに活してほしいです。

萩市立椿西小学校ジオパーク学習に白井専門員が参加しました

6/13
・16

13日は、昨年ビオトープ再生大作戦を成功させた椿西小5年生の田んぼ学習で、ビオトープ学習の振り返りと、田んぼとの関わりのお話をしました。そのあとは、水を張り始めた田んぼに入って生き物観察をしました。

16日は、大地の成り立ち学習+田植えという内容で、地形図と古地図を見比べたり、三角州をつくる実験をしたり、田植えをしたりと充実した時間となりました。お米を作るだけではない田んぼの役割と大切さを知ってもらいました。



その他の出前講座など

- 6月1日 山口県立萩商工高等学校1年生に白井専門員が、総合的な探求の時間で「萩地域の自然」についてお話をしました。
- 6月3日 美祢市立伊佐中学校3年生に白井専門員が、修学旅行事前学習として「萩城下町・笠山・須佐の大地と人の秘密」をテーマにオンラインで授業を行いました。また、同日萩市須佐地域女性団体連絡協議会に白井専門員が、萩東部地域のジオについてお話ししました。
- 6月6日 萩市立福栄小学校6年生に伊藤事務局長が、総合的な探求の時間で「萩ジオパークの大地と人のつながり」についてお話をしました。
- 6月7日 患者サロン「だいだい」で白井専門員が「大地と人の暮らしについて」お話をしました。
- 6月13日 萩市立福栄小学校6年生に伊藤事務局長が、総合的な探究の時間で「萩の大地の成り立ち」について実験を通して伝えました。
- 6月24日 美祢市立秋芳桂花小学校5年生の学級PTAに伊藤事務局長が、Mine秋吉台ジオパーク事務局と一緒に「萩・秋吉台ジオパークについて」お話をしました。
- 6月30日～7月1日
美祢市立伊佐中学校3年生に白井専門員、ジオガイドの齋藤さん、波田さん、松井さんが修学旅行の体験プログラムを提供しました。

Column

「人の暮らしが刻まれた地層」の話



6月10日、「萩・明倫学舎」の敷地内数か所に穴を掘って、文化財保護課の柏本総括専門職が調査をしていたので話を伺いました。

深さ1mぐらいですが、いくつかの層に分かれていました。一番深い部分の真っ黒い粘土の層は、1849年に萩藩校明倫館が建つ前の層だそうです。当時、ここは田んぼで、“深田”と呼ばれるほど深い湿地だったとか。ジオツアーなどで「萩三角州のど真ん中、ここは低湿地でした」と解説していますが、その実物を見ることが出来ました。さらに、その黒い層の直上約60cmの砂の層は、明倫館を建てる際、半年ぐらいかけて運び込まれた菊ヶ浜の砂だそうです。膨大な量の砂ですが、大雨のたびに氾濫をくり返して河口に土砂を運び込んでいた阿武川あっての一大事業です。今はダムがあって砂浜は減る一方ですが、当時はこれぐらいの量であればすぐに再供給されるということ当時の人々はわかっていたのでしょうか。



一番上の層は、明倫小学校を建てる時にさらに重ねられたものだそうです。地面は言葉を発しません、こうしてその土地の物語を伝えてくれます。なお、穴はすぐに埋め戻されたため現在は見ることはできません。

令和4年度萩市ジオパーク活動補助金を交付する3団体が決定

団体名：萩ジオツーリズム協会 交付決定金額：206,000円

事業名：体験型ツアーの開発～セルフ野点を通して大地と人のつながりに触れよう～
内容：菊ヶ浜で、萩焼の抹茶茶碗を用いた、野点を含む体験プログラムを開発する。

団体名：竹森れい 交付決定金額：190,000円

事業名：笠山ボルケーノピクニック（第2回）
内容：笠山山頂でイベントを開催する。

団体名：萩市立須佐中学校 交付決定金額：100,000円

事業名：ふるさと発信プロジェクト
内容：須佐中学校の生徒が、ジオサイトなどをデザインしたエコバッグを作成し須佐をPRする。



子どもから大人、さらには外国人まで…言葉じゃなくて体験で感動が伝わる技、目からウロコの超体験型ガイド術を、全国を股にかけて活動されている人気プロガイドから伝授していただきます。しかも今回は夜間プログラムでの対応技術が取得できます。予備知識不要、講座内でも難しいお勉強は一切ありません。

日時：7月8日（金）～10日（日）
8日（金）16:00～21:30、9日（土）13:30～21:00、10日（日）13:30～21:30

会場：萩セミナーハウス（萩市堀内）、菊ヶ浜

講師：一般社団法人をかしや 代表理事 菊間 彰氏

対象：ジオガイドに興味のある人、体験を通して伝える技術を学びたい人、ジオガイド

定員：20名

受講料：無料

内容：8日／座学・講師による実演・振り返り
9日／座学・体験プログラムづくり・試行・振り返り
10日／ガイド練習・モニターツアー・振り返り

持参物：野外活動のできる服装でご参加ください

申込み：萩ジオパーク推進協議会
(0838-21-7765)

萩ジオパークモニターツアー「菊ヶ浜で遊ぼう！」

萩ジオパークの夜プログラム、感覚を研ぎ澄まして遊びます。

日時：7月10日（日）19:30～20:30

場所：菊ヶ浜

参加方法：10分前までに菊ヶ浜駐車場においで下さい

定員：20名（先着、当日受付可）

対象：どなたでも（海岸で遊べる服装で）

参加費：無料

7月の予定

● 萩ジオガイド養成講座 7月8日（金）～10日（日） ※詳しくは上記を参照

○ 笠山ジオの会 笠山噴火実験&火口見学ミニツアー 7月9日（土）、23日（土） 時間：13:00～、14:00～、15:00～の1日3回。各回所要時間15分 内容：笠山山頂を舞台に笠山の成り立ちが分かる実験と火口見学ツアーを開催 料金：高校生以上200円、小中学生100円、乳幼児無料 受付：当日現地受付。先着10名

○ geoとも（萩ジオ友の会）定例会 7月16日（土） 内容：11月の展覧会にむけてだれでもできるアートで作品づくり 主催・問い合わせ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）

● 地球を食べる食堂2022#03「須佐ホルンフェルスとケンサキイカ」 7月17日（土）12:00～15:00 集合場所：JR須佐駅 主催・問い合わせ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765） ※定員に達したため受付終了

○ 笠山ジオの会 夏休み工作プログラム「島のでき方大実験（仮）」 7月23日（土）13:30～、14:30～ 場所：笠山山頂展望台 内容：どろどろ溶岩実験キットを用いて、景色の解説と成り立ちを紹介 料金：300円 受付：当日現地受付

○ 弥富・小川においでんさい「龍が通った道まつり」探検！第2弾 ～小川の上の原台地から龍鱗郷を歩こう～ 7月31日（日） 内容：「龍の頭」と言われている上の原台地に行き、「なぜ頭と言われているか？」お話を聞きながら龍鱗郷まで歩く 主催：弥富豊ヶ淵交流事業実行委員会 ※定員に達したため受付終了

● 須佐ホルンフェルス ジオアドベンチャー 7月24日（日）10:00～11:00～ 定員：10名（7/20までに電話申込み） 主催・問い合わせ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

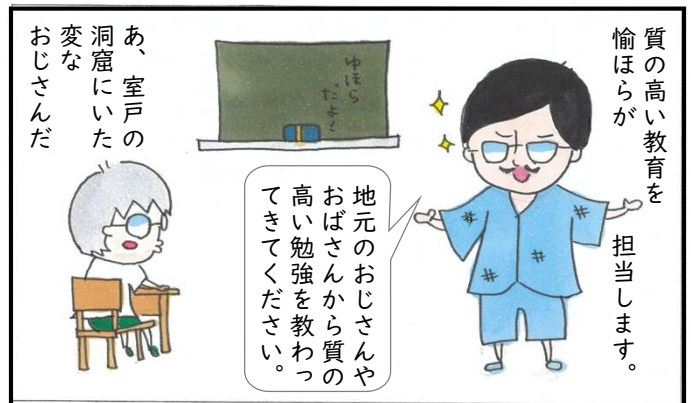
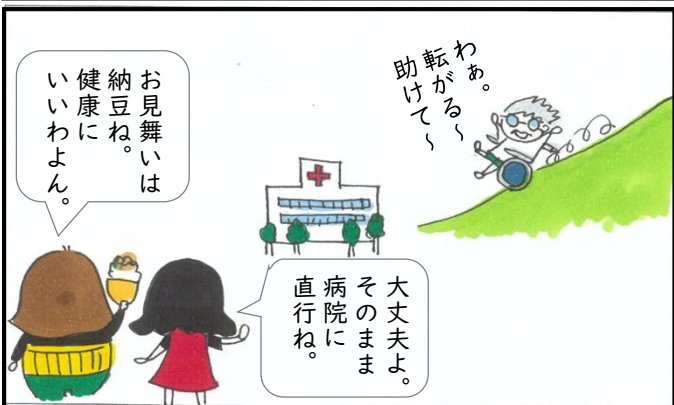
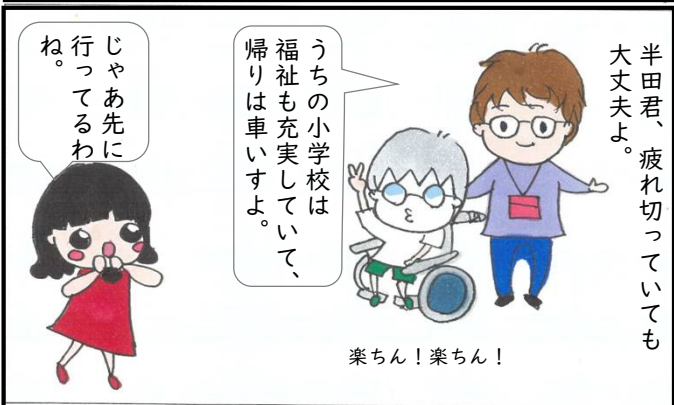
○ 夏休み工作プログラム「しましまのひみつミニツアー」 7月24日（日）10:00～15:00 申込み：不要

がんばれ!半田くん

原作：わっきー教授 画：白玉だんご

第66話 ひと 健康と福祉を

第67話 しつ たか きょういく 質の高い教育を みんなに



わっきー教授のつばやき

今回は、SDGsの17の目標のうち、3と4についてのお話です。



目標3は、「すべての人に健康と福祉を」というタイトルです。SDGsの前身であるMDGs(ミレニアム開発目標)では、健康改善や疾病対策が功を奏して、コレラによる幼児死亡率が低下しました。しかし、はしかや結核などで命を落とす子供が毎日1万6000人を越す状況が続いており、アフリカでは多くの若者がエイズで命を落としています。SDGsでは2030年までにエイズ・結核・マラリアなどを食い止めるため、世界の全ての人々が適切な医療を受けられる体制作りを求めています。また妊婦や乳幼児の死亡率を大幅に下げるときのための医療・福祉の充実を欠かすことができません。また、この問題は目標1の貧困問題や目標2の飢餓の問題とも関連しており、総合的な対策が必要とされています。



(https://gooddo.jp/magazine/sdgs_2030/health_and_wellbeing_sdgs/8393/参照)

目標4は、「質の高い教育をみんなに」というタイトルです。日本は、識字率が100%で、小学校や中学校が義務教育となっており、多くの子供達が十分な教育を受けることができる状況にあります。しかし、世界に目を向けると、学校に通うことができない子供達や文字の読み書きの出来ない子供達が沢山います。大人を含めると、世界で7億7300万人が読み書きが出来ないとされています(ユネ

スコ統計)。宗教的な理由や政治的な理由で、女性が教育を受けられない

国も存在します。読み書きの出来ない子供達は、騙されたり、犯罪に巻き込まれたりするなど、心身の危険に巻き込まれやすい傾向にあります。児童労働も問題です。2016年時点で、世界の児童労働者(5-17歳)は1億5200万人います。その半数が、危険で有害な労働を強いられています。児童労働については、谷川俊太郎氏の絵本をご覧ください。教育の問題も、健康の問題と同様に、貧困や飢餓の問題とリンクしていますし、ジェンダーなどの不平等の問題も関連しています。SDGsの多くの目標を視野に入れて、活動することが、教育問題の解決に繋がると考えられます。

これらの問題に対処するため、国内外の様々な団体が活動しています。私たちは不要品をそれらの団体に寄贈することで、途上国の人々の教育状況改善を手助けすることもできます。もちろん、募金や寄付を受け付ける団体もあります。

谷川俊太郎絵本「そのこ」



(<https://www.youtube.com/watch?v=2Iw-oAYD7T0>)



参考サイト：<https://miraii.jp/sdgs-7>

<https://teachforjapan.org/entry/column/2020/01/28/kyouiku-kadai-sekai/>